



第5章 目指すべき方向性

5.1 理想像と目標

5.2 施策体系



5.1 理想像と目標

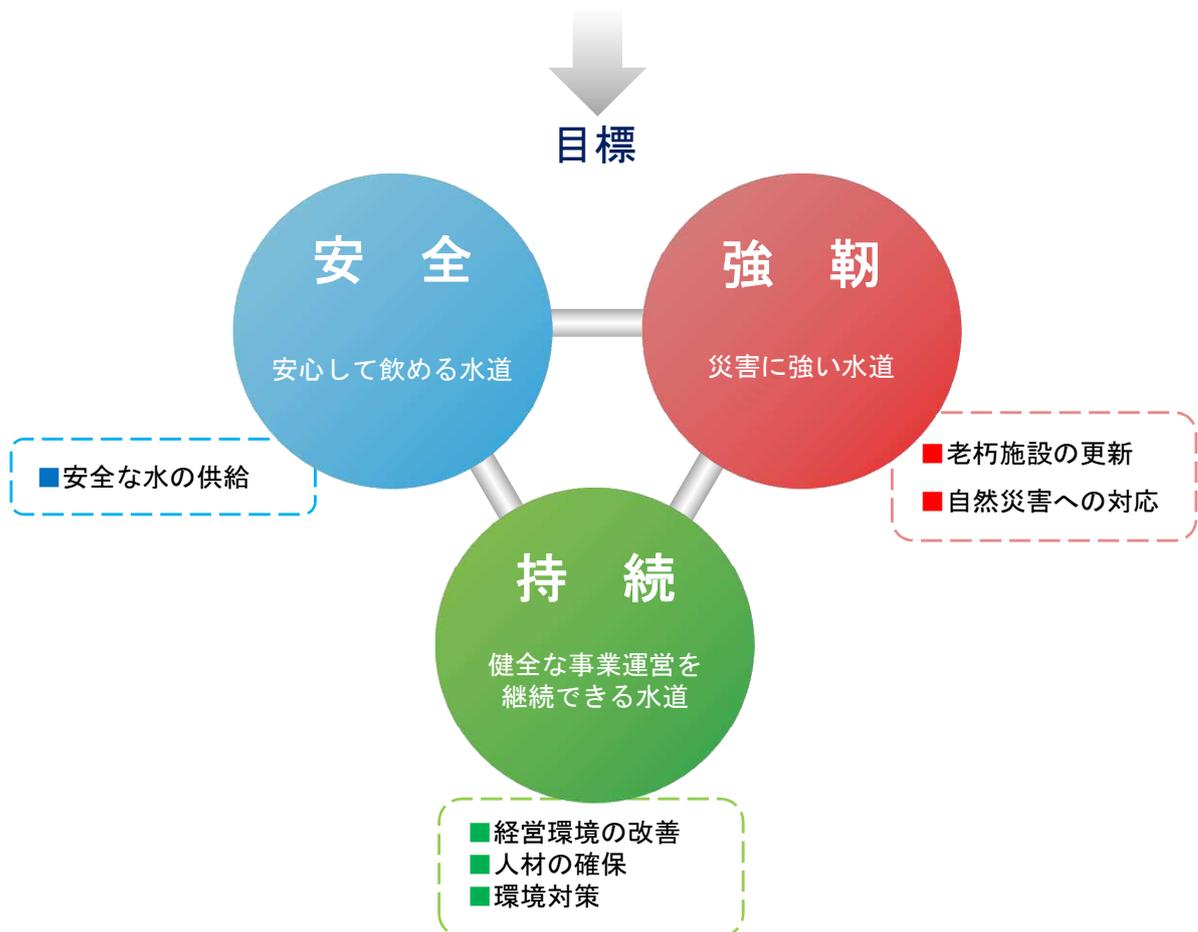
綾部市第5次総合計画の将来像で示される、「住んでよかった・・・ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を支え続けるため、また、次世代へ水道を継承できるように、現状の課題と将来予想される事業環境の変化を踏まえ、新水道ビジョンに示された「持続」「安全」「強靱」の観点から、「いつまでも安心して飲める水道」を本市水道の理想像に掲げました。

掲げた理想像を具現化するために、「持続」「安全」「強靱」の観点から6つの目標を設定し、各施策に計画的に取り組んでいきます。

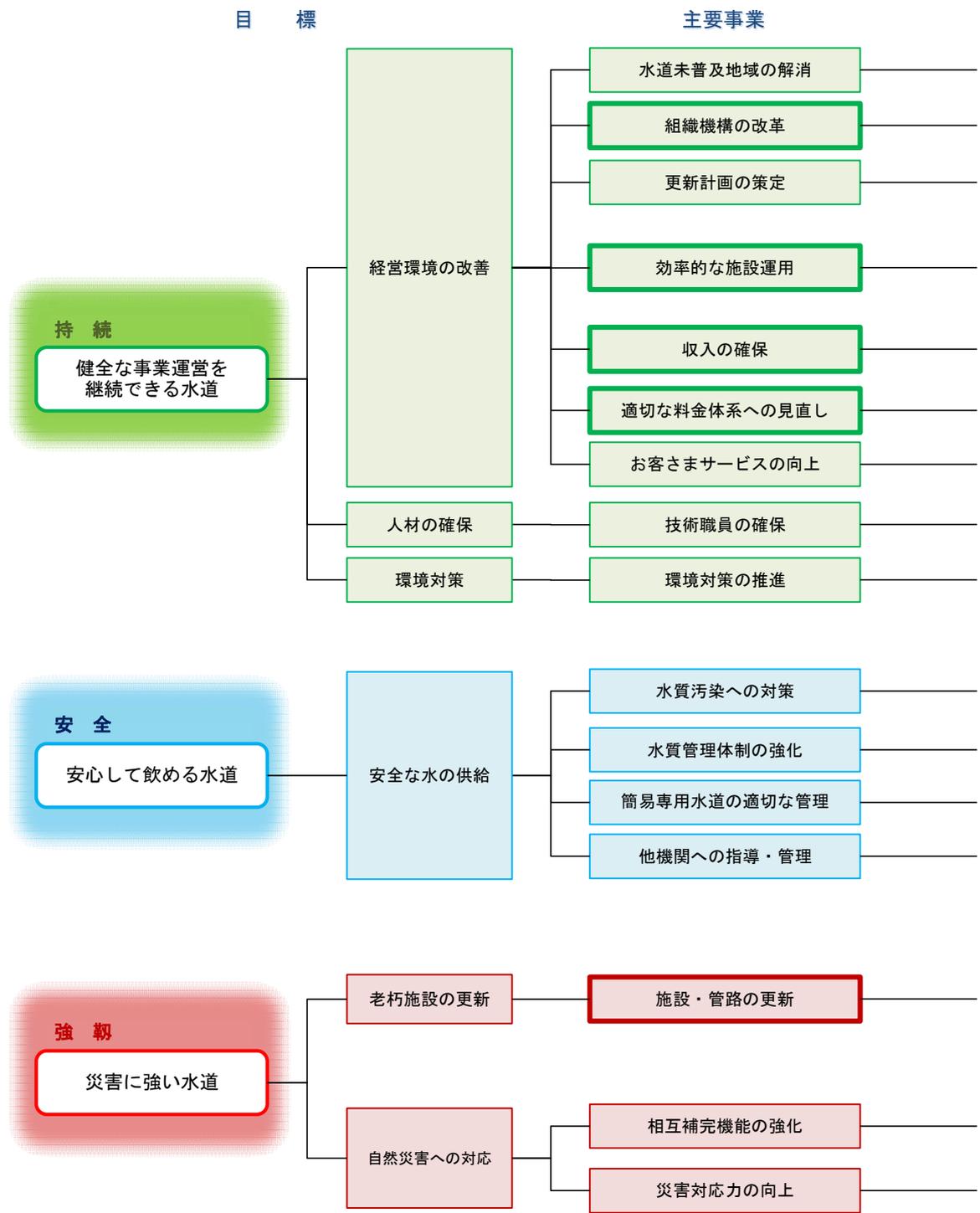
理想像

いつまでも安心して飲める水道

お客さまが安心して利用できる水道を次世代へ継承できるように計画的に事業運営を行っていきます。



5.2 施策体系



具体的な取り組み

数値目標

		指標	H25	H36
・未普及地域の水道整備		水道普及率 (%)	97.5	98.1
・職員の適正配置、事務分担の見直し (重点項目)				
・外部委託の検討				
・アセットマネジメントの見直し				
・水道事業ビジョンフォローアップの強化				
・簡易水道の統合				
・施設のダウンサイジング・統廃合の検討 (重点項目)				
・配水エリアの見直し				
・適正な管口径の検討				
・遊休施設用地の有効活用				
・口座振替の推進、料金のコンビニ収納化への対応				
・滞納管理の強化 (重点項目)		現年度分料金収納率 (%)	97.8	98.5
・料金体系の見直し (料金改定) (重点項目)				
・お客さまサービスの向上				
・技術の継承				
・省エネ型機器の積極的な採用		配水量 1m ³ 当たりの電力消費量 (kWh/m ³)	0.88	0.95
・耐塩素性病原微生物 (クリプトスポリジウムなど) 対策の強化				
・水質管理体制の強化				
・水質検査結果などの公表		水質基準適合率 (%)	100.0	100.0
・受水槽 (10m ³ 以上) 設置者への指導強化				
		法定検査受検率 (簡易専用水道) (%)	95.8	100.0
・工事業者に対する指導の継続				
・施設・管路の更新および耐震化 (重点項目)		経年化設備率 (%)	60.4	73.8
		経年化管路率 (%)	17.8	21.0
		有収率 (%)	83.2	90.0
		浄水施設耐震率 (%)	69.3	97.3
		ポンプ所耐震施設率 (%)	58.9	72.4
		管路の耐震化率 (%)	16.0	28.2
・管路の管網化 (配水ブロック化)				
・備蓄品の整備				
・危機管理マニュアルの整備				
・防災訓練の実施				